立原道造の詩による混声合唱曲

- 1 子守唄
- 2 野原に

澤田博

composition pour choeur mélangé par 2 poèmes de TACHIHARA michizô

- 1 berceuse
- 2 dans le champ

SAWADA hiroshi

キーワード : 日本語, 関西アクセント, 現代歌曲,

Key Words: Japanese, Accent of kansai-region, Contemporary song

立原道造の詩(zG3限声合唱曲







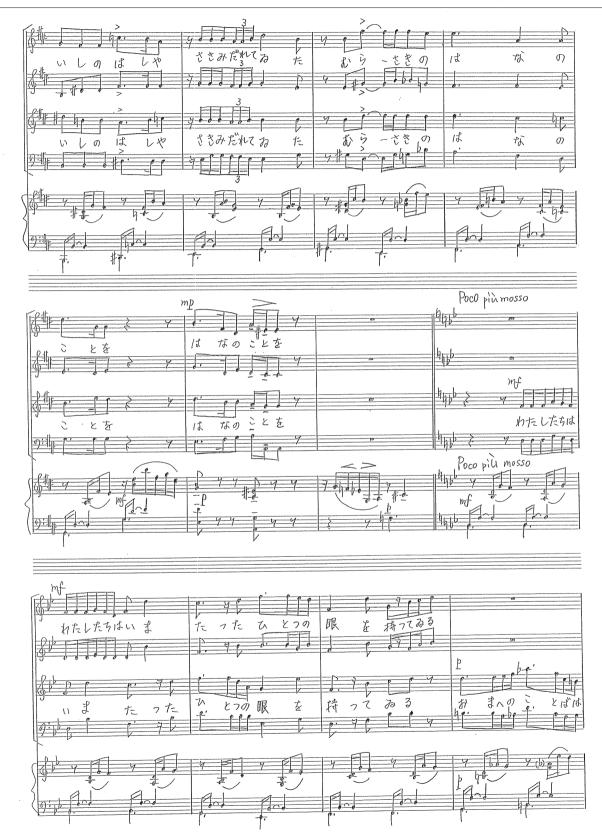
立原道造の詩による混声合唱曲

野原仁 上原适选, 請 澤田博.曲 Allegretto ()=124) P のは f ふるさ とを おまへ かまへ のかるさ











靄に流れる おまへの向う 眠れ

瞼よ

眠れ

眠れ

しづかに眠 うすら明

れ

立原道造の詩による混声合唱曲

子守唄

道造

野原に

立原

道造

くりひろげられた 広 1) 野原に

私は 夜の明けてゆく おまへの故郷を見た

ゆるやかな起伏は 沈んだ土の色とに 色どられて あざやかな緑と 薄紗を一枚づつ剝いで行つた

私は 立ちどまらなかつた 私は

片方の眼でそれを見たばかりで

いつの間にか 歩みすぎてしまつてゐた……

1)

ま

とざされた

私の内に

もどつてゐる

おまへは 私のかたはらに立つてゐる

小川にかかつた石の橋や 私はおまへにたづねる……あの野を灌漑する 咲きみだれてゐた紫の花のことを

午前の光にみたされた おまへの言葉は 私たちは いま あの絵のなかで たつたひとつの眼を持つてゐる 微風のようにやはらかい 川のほとりで

眠れ

眠れ

しづかに眠れ

瞼よ

幾つの夜をこえ

きらきら光る朝まで

夢をかぞへて 息をかぞへて

であるが、これを「野原」に改め、曲名とした。 原詩の題名と第一行は「くりひろげられた 広い 野景に」

-119-

立原